


川づくりコーディネーター 登録シート (閲覧用) ①

ふりがな 氏名	姓 たきざわ	名 きょうへい	写真
	滝澤	恭平	
登録を希望する役割(複数選択可)	活動可能な曜日、時間		
<input checked="" type="checkbox"/> ファシリテーター <input checked="" type="checkbox"/> 河川利用技術者 環境技術者 土木技術者	平日、土日、調整可能		
略歴(川づくりコーディネーターに関連する学歴・職歴・業務経歴など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2007年 工学院大学大学院建築学科卒業 ・2007～2010年 愛植物設計事務所(ランドスケープ・水辺空間設計)勤務 ・2014年 東京工業大学大学院社会理工研究科(社会的合意形成専攻)修士課程修了 ・2014年～現在 ミズベリング・プロジェクト(国交省水局河川利活用事業)事務局ディレクター ・2015年～現在 水辺総研を設立 ・2015年～現在 九州大学大学院博士課程応用生態工学研究室(都市河川再生テーマ)在学 			
自己PR(得意な分野、担当したい内容など) 地域のニーズをうまく拾い上げながら、地域の方々が望む河川空間や河川環境のデザインをコーディネートします。水辺の利活用や背後のまちや公園などの活動との連動も得意です。また、都市全体で水循環や環境の改善を行い、多機能で魅力的なまちをつくるグリーンインフラの手法も適用可能です。まちや地域の人びとにとって思い入れがある水辺を生み出すお手伝いができればと思います。			
活動を希望する地域(区名、河川名など)			
その他			

※注意：このシートは横浜市のホームページ等で公開されます。

川づくりコーディネーター 登録シート (閲覧用) ②

役割に関連する経験(登録を希望する役割一つにつき、対応する経験等の一つ以上記載願います。)	
登録を希望する役割	経験の内容(プロジェクト等の概要、どんな立場で関わったか、担当した内容)
<input checked="" type="checkbox"/> ファシリテーター <input type="checkbox"/> 河川利用技術者 <input type="checkbox"/> 環境技術者 <input type="checkbox"/> 土木技術者 (該当するものにチェック)	<ul style="list-style-type: none"> ・はまっこアユ遡上プロジェクト(帷子川):アユを指標種としていい川を目指し、帷子川の魅力向上とコミュニティの活性化を図る市民協働ワーキング。ファシリテーターとして通年の事業に渡り関わった。市民参加のプログラムの開発、議論のファシリテーション、川のビジョンを含む川づくり計画の策定、広報、市民普請自然再生プログラムとしての河道内石組み水制の企画、施工支援を行った。 ・杉並区善福寺公園内夢水路事業(遅野井川)再生:市民組織・善福寺川を里川にカエル会(善福蛙)の事務局長として、地元小学校や地域住民と協働を行い、人が入れずに放置された水路での環境教育、水辺ビジョンづくりを実施。区への提案により夢水路事業として事業化、子供が安全にアクセスし、川遊びができて多様な郷土種生物が生息する小川に再生した。竣工後は、市民協働での維持管理組織を立ち上げ、運営を行っている。
<input type="checkbox"/> ファシリテーター <input checked="" type="checkbox"/> 河川利用技術者 <input type="checkbox"/> 環境技術者 <input type="checkbox"/> 土木技術者 (該当するものにチェック)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズベリングプロジェクトディレクター:国交省が主催の全国の河川利活用促進プロジェクトのディレクターとして、戦略策定、企画、ソーシャル・デザイン、地域との協働を行った。風景創造社会実験として、全国で一万人が7月7日7時7分に一斉に水辺で乾杯する「水辺で乾杯プロジェクト」(2018年グッドデザイン金賞受賞)の企画実施など。 ・ミズベリング横浜西口(帷子川・新田間川):相鉄の横浜駅西口エリアのエリアマネジメント活動と連動し、公共空間としての河川空間を利活用するイベント、SUP体験、環境調査、自然観察会、橋上広場での水槽展示などを企画・実施した。公共空間の水辺拠点施設 Future Pub'lic ヨコハマニシグチを企画。 ・waters takeshiba 干潟創出事業(汐留川・竹芝):JR東日本の再開発事業として敷地前面の河川空間を活用したまちづくり計画を策定した。水上仮設棧橋を設置の上、舟運活性化に向けた運行実験にぎわい社会実験を実施。また、2016年より、四季毎に環境基本調査を行い、その結果を地域の学校や市民とイベントとして共有し、干潟再生へむけた機運を醸成した。東京都、港区と占用に関する協議を行い、河川法準則に基づいた地域貢献のための占用スキーム策定を支援した。干潟および棧橋施設の基本構想を行い、基本・実施設計の監修を行った。竣工後は、市民企業地域協働での維持管理運営を行う。
<input type="checkbox"/> ファシリテーター <input type="checkbox"/> 河川利用技術者 <input type="checkbox"/> 環境技術者 <input type="checkbox"/> 土木技術者 (該当するものにチェック)	